

マルチメディアが集う、レッド・ゲート・ギャラリー Island 6 エキシビションがオープン ザ・オポジット ハウス

 Red Gate Gallery



上海をベースとする総合アート集団、Island 6 (Liu Dao/六島) による新しいエキシビション「LED City」が2009年10月16日よりザ・オポジットハウスにてスタートします。

このイノベーションあふれる作品を創り上げたのは、9人の国際的なアーティストで、今回Island 6は、電気の力を作品のツールとして選びました。全てのオブジェは、電気の力を用いて光と色にあふれた作品がザ・オポジット ハウスを彩ります。

レッド・ゲートのディレクターであるブライアン・ウォレスは、「LED Cityはザ・オポジット ハウスのアトリウム部分を輝かせ、命を吹き込み、訪れるゲストを驚かせ、魅了することでしょう。Island 6の才能と技術により、音もなく繰り返し表現されるのは、21世紀という新しいテンポの中で上海や北京のような都市に古くから根付いていた問題点を、六島(Liu Dao)が表現しました。」と語っています。

時に技術は、毎日の作業を自動化し、生活を楽にさせてくれるツールになります。そしてまた、世界中の人と、簡単に、かつパワフルにコミュニケーションするための手段ともなりうります。六島(Liu Dao)のメンバーにとって、技術とはその両方であり、それ以上の存在です。六島(Liu Dao)の力を持つてすれば、テクノロジーはオーガニックにもなり、デジタルな現実が生き活きとゲストに話しかけ、夢を見させ、考えさせ、そして魅了し始めます。

LED Cityは、まるでアルフレッド・ヒッチコックの「裏窓」(1954)やブライアン・デ・パルマの「ボディ・ダブル」(1984)のセッティングのように、作品の中から人の生活を垣間見るようなところが存在しています。特定なものを見方を表現しているのではありませんが、まるで何かをのぞいているような感覚を抱かせます。中国の町では、わずかに見えるLEDがのぞきの感覚につながる背景があるので、これは新しいアートフィリア(アートワークとファンタジーや空想を結びつける気持ち)といえるでしょう。

LEDの塔は、その形から物理的にイメージを限定させます。それは他人を見るための窓であり、他人から見られている窓にもなります。その中でコレオグラファーのウー・ユンダンとリー・リンシーが表現しているのは一部だけで、何千万人と暮らす中国の都市の厚い壁の中で、いかに情熱や愛情が育ち、存在しているのか、見る人の想像を促します。



「ATMマシン」では、LEDでホワイトカラーがライフルを持って行進していくところが表現されています。これは社会的プレッシャーを感じ、自分や家族の期待に応えるべく、消費主義世界というピラミッドの中においてトップにいるために常に戦わねばならない様を描写しています。

六島(Liu Dao)の塔は、壁の中に守られてきた気持ちや問題をほんのわずかに見せています。そこから広がるのは感情の波、繰り返すパターンやライフスタイルであり、永遠に続く男と女の欲求です。繰り返し再生されるビデオには具体的な内容が詰め込まれています。それぞれの作品が疑問符となり、個人の心の中に、自分という窓の中に、小さな質問を投げかけます。

「ザ・オポジットハウスに素晴らしいコンテンポラリー・アートを提供してくれるレッド・ゲート・ギャラリーと今回再び協力することができて、非常に嬉しく思っています。六島(Liu Dao)の作品は、アトリウムにて、目にも刺激的な問題提起をしてくれます。」と総支配人のアンソニー・ロスがコメントしています。



ISLAND 6

レッド・ゲート・ギャラリーについて

オーストラリア人であるブライアン・ウォレスが1991年に設立したレッド・ゲートは、数々の一流中国人アーティストを輩出する基盤となりました。レッド・ゲートのアーティストの多く、15年以上ギャラリーに所属しており、中国の最も難しい社会問題を批判的かつ正確な目で表現し、その劇的な変化を精密に描いています。

また、ギャラリーの行う国際的なアーティストのレジデンス(滞在型)・プログラムは高い評価を受けており、中国のアーティストと海外のアーティストが交換、交流する機会として、今まで何百人ものアーティストが参加してきました。

詳細は下記までお問い合わせ下さい。



ブライアン・ウォレス(Brian Wallace)
レッド・ゲート・ギャラリー ディレクター
中国国内携帯電話: (86) 137 010787 21
Eメール: HYPERLINK "mailto: redgategallery@aer.net.cn "

六島(Liu Dao)について

六島(Liu Dao)は2007年にフランス人学芸員のトーマス・シャルヴェリアとラトビア人のアート・ディレクター、Zane Mellupe の後援のもと、Island 6 アート・センター(island6.org)に創設された国際的な総合的アート集団で、上海をベースに活動しています。パフォーマンス・アーティスト及びマルチメディア・アーティスト、エンジニアとテクノロジーおたく等のメンバーにより構成され、エレクトロニック・アートにおける体や動きの研究を中心に、人間の交流、相互関係を具現化してきました。

ザ・オポジットハウスにて展示される作品は、体や認知された人格の並列と相互作用を一般的なテクノロジーを用い、身体的な特性や動きをオーバーに描写することで人間の形を過剰に表現しています。

ビデオ作品:

HYPERLINK " <http://www.island6.org/Appearances.html> "

HYPERLINK " <http://www.island6.org/Headhunting.html> "

HYPERLINK " <http://www.island6.org/OnTheEdge.html> "

スワイヤー・ホテルズについて

スワイヤー・ホテルズは、テイラーメイドなパーソナルサービスで、すべてのトラベラーに個性あふれるホテル滞在を提供するスモールラグジュアリーなホテルを香港、中国本土、イギリスにおいて運営することを目的として発足しました。2008年オープンのザ・オポジットハウス（北京）に続き、香港のパシフィックプレイス上部に2009年10月に117室のラグジュアリーホテル、ザ・アッパーハウスをオープンしました。さらに、スワイヤー・ホテルズは、ライフスタイル・ビジネス・ホテルカテゴリーの「イースト」（345室）を2010年に香港島東部にもオープン予定です。イギリスでのスワイヤー・ホテルズは2010年より、いくつかの都市にラグジュアリー・ブティックホテルのコレクションを展開してゆく予定です。

ザ・オポジットハウスについて

ザ・オポジットハウスは、スワイヤー・プロパティによって開発された、北京を代表するオープンプランのショッピング、ダイニング、エンターテイメント地区、三里屯のザ・ヴィレッジに位置します。当ホテルは、9つの広々としたスイート、北京で最大の広さを誇る240㎡のルーフトップテラス付きメゾネット式ペントハウススイートを含む99の客室を有します。客室の半分以上が70㎡以上の広々とした造りで、天然木のフローリングと微妙なチャイニーズタッチのインテリアが特色です。

このプレス・リリースに関するお問い合わせ、資料送付のご希望は、
スワイヤー・ホテルズ（ザ・アッパーハウス）PR代理店、ケントス・ネットワークまでご連絡ください。
: 03-3403-5328 / e-mail : info@kentosnetwork.co.jp
<http://www.kentosnetwork.co.jp>